

平成 2 9 年 度

歳入歳出決算補充説明

教 育 委 員 会

平成29年度一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会所管の事務事業に係る決算の概要をご説明申し上げます。

(歳入)

教育委員会関係の歳入決算額は、

予算現額	425億5,339万3,000円
調定額	413億 924万5,636円
収入済額	411億7,344万5,721円
不納欠損額	11万 841円
収入未済額	1億3,568万9,074円

であります。

(歳出)

第10款教育費のうち、教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,615億1,394万1,000円
支出済額	1,604億5,717万2,106円
翌年度繰越額	2億9,688万1,600円
不用額	7億5,988万7,294円

であります。

また、第11款災害復旧費のうち、教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1億 588万1,000円
支出済額	4,992万1,336円
翌年度繰越額	1,501万1,720円
不用額	4,094万7,944円

であります。

教育費と災害復旧費を合わせた教育委員会関係の歳出決算額は、

予算現額	1,616億1,982万2,000円
支出済額	1,605億 709万3,442円
翌年度繰越額	3億1,189万3,320円
不用額	8億 83万5,238円

となっております。

以下、お手元の「平成29年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

まず、歳入決算につきましてご説明申し上げます。

52頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第8目教育使用料は、

予算現額	43億7,470万7,000円
調定額	43億7,412万9,616円
収入済額	43億7,369万2,644円
収入未済額	43万6,972円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校授業料	43億7,059万1,711円
土地使用料	262万7,407円
建物使用料	47万3,526円

なお、収入済額は、予算現額に比べて101万4,356円の減収となりましたが、これは主に、高等学校授業料の減によるものです。

収入未済額は全額、高等学校授業料におけるものであり、平成30年度債権処理計画において設定した目標達成に向けて、引き続き収納の確保に努めてまいります。

次に、68頁の第2項手数料、第9目教育手数料は、

予算現額	1億2,923万5,000円
調定額	1億2,821万1,570円
収入済額	1億2,821万1,570円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教育職員免許状授与等手数料	1,428万4,220円
高等学校入学選抜手数料	3,948万5,450円
高等学校入学料	6,997万9,550円

なお、収入済額は、予算現額に比べて102万3,430円の減収となりましたが、これは主に、高等学校入学選抜手数料の減によるものです。

76頁の第9款国庫支出金、第1項国庫負担金、第7目教育費負担金は、

予算現額 245億1,160万6,000円
調定額 245億1,229万6,549円
収入済額 245億1,229万6,549円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
義務教育費負担金	240億8,304万6,717円
特別支援学校就学奨励費負担金	5,105万8,849円
公立学校施設整備費負担金	3億7,610万2,000円

なお、収入済額は、予算現額に比べて69万549円の増収となりましたが、これは主に、特別支援学校就学奨励費負担金の増によるものです。

次に、第8目災害復旧費負担金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 4,435万4,000円
調定額 1,393万7,000円
収入済額 1,393万7,000円 で、

収入済額は全額、県立学校施設災害復旧費負担金であり、台風第21号により被害を受けた県立学校の復旧に係る事業に充当したものであります。

なお、予算現額と収入済額との差額3,041万7,000円は、対象事業の減及び事業の一部を繰り越したことから翌年度の収入となったことによるものです。

次に、100頁の第2項国庫補助金、第9目教育費補助金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 41億4,453万9,000円
 調定額 40億7,994万8,471円
 収入済額 40億7,994万8,471円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
スクールカウンセラー活用事業補助金	7,208万9,000円
高等学校等就学支援金交付金	35億5,772万7,093円
学校施設環境改善交付金	2億1,689万5,000円
高等学校等修学支援事業費補助金	1億2,134万3,966円

なお、収入済額は、予算現額に比べて6,459万529円の減収となりましたが、これは主に、四日市工業高等学校専攻科棟の建築費に係る学校施設環境改善交付金の減によるものです。

次に、112頁の第3項委託金、第8目教育費委託金は、

予算現額 1億4,679万3,000円
 調定額 1億5,664万2,982円
 収入済額 1億5,664万2,982円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
在外教育施設派遣教員委託金	9,296万8,093円
防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業委託金	606万9,130円
スーパープロフェッショナルハイスクール事業委託金	817万6,176円
学校現場における業務改善加速事業委託金	663万2,905円

なお、収入済額は、予算現額に比べて984万9,982円の増収となりましたが、これは主に、在外教育施設派遣教員委託金の増によるものです。

116頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち、教育委員会関係は、

予算現額 6,429万4,000円
調定額 6,429万5,902円
収入済額 6,429万5,902円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
地所貸下料	3,290万4,235円
家屋貸下料	3,139万1,667円

これは、自動販売機設置場所貸付を実施したことによるものです。

次に、第2目利子及び配当金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 96万9,000円
調定額 96万6,427円
収入済額 96万6,427円 で、

収入済額は全額、三重県高等学校等修学奨学基金の運用収入です。

次に、第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち、教育委員会関係は、

予算現額 1,831万4,000円
調定額 1,901万6,753円
収入済額 1,901万6,753円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
物品売払収入	55万4,606円
教育関係物品売払収入	1,846万2,147円

なお、収入済額は、予算現額に比べて70万2,753円の増収となりましたが、これは主に、事務局及び学校における不用物品売払の実績増によるものです。

次に、118頁の第3目生産物売払収入のうち、教育委員会関係は、

予算現額	4,945万2,000円
調定額	4,292万 870円
収入済額	4,292万 870円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校生産品売払収入	3,527万5,542円
実習船漁獲物売払収入	764万5,328円

なお、収入済額は、予算現額に比べて653万1,130円の減収となりましたが、これは高等学校生産品売払収入及び実習船漁獲物売払収入の実績減によるものです。

120頁の第11款寄附金、第1項寄附金、第2目教育費寄附金は、

予算現額	910万8,000円
調定額	1,871万7,900円
収入済額	1,871万7,900円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
高等学校等修学奨学金寄附金	12万円
平成30年度全国高等学校総合体育大会寄附金	1,838万5,000円
ユネスコ無形文化遺産保全等寄附金	11万2,900円
特別支援学校寄付金	10万円

なお、収入済額は、予算現額に比べて960万9,900円の増収となりましたが、これは主に、平成30年度全国高等学校総合体育大会に対して、多額の寄附を頂くことができたことによるものです。

124頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 8億8,300万9,000円
調定額 8億5,960万8,742円
収入済額 8億5,960万8,742円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
昭和学寮顕彰人材育成基金繰入金	2,417万7,394円
体育スポーツ振興基金繰入金	9,910万3,376円
財政調整基金繰入金	6億1,253万4,056円
高等学校等修学奨学基金繰入金	1億2,000万6,958円

なお、収入済額は、予算現額に比べて2,340万258円の減収となりましたが、これは実績減による各基金充当額の減少によるものです。

126頁の第13款繰越金、第1項繰越金、第1目繰越金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 240万5,000円
調定額 240万5,000円
収入済額 240万5,000円 で、

収入済額は、四日市工業高等学校専攻科棟の建築工事及び松阪あゆみ特別支援学校の建築工事の繰越に伴い、前年度から財源を繰り越したものです。

130頁の第14款諸収入、第4項貸付金元利収入、第11目進学奨励金返還金収入は、

予算現額 815万円
調定額 1,586万2,634円
収入済額 1,271万7,269円
収入未済額 314万5,365円 で、

収入済額は全額、進学奨励金返還金です。

収入未済額につきましては、平成30年度債権処理計画において設定した目標達成に向けて、引き続き収納の確保に努めてまいります。

次に、第22目高等学校等修学奨学金返還金収入は、

予算現額 2億9,933万6,000円
調定額 3億2,381万 904円
収入済額 3億 107万9,646円
収入未済額 2,273万1,258円 で、

収入済額は、予算現額に比べて174万3,646円の増収となりました。

収入未済額につきましては、平成30年度債権処理計画において設定した目標達成に向けて、引き続き収納の確保に努めてまいります。

次に、136頁の第5項受託事業収入、第6目教育関係受託事業収入は、

予算現額 1億4,587万8,000円
調定額 1億4,544万 947円
収入済額 1億4,544万 947円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
文化財調査受託事業収入	1億4,122万円

次に、138頁の第6項収益事業収入、第1目宝くじ収入のうち、教育委員会関係は、

予算現額 1億8,886万円
調定額 1億8,690万4,361円
収入済額 1億8,690万4,361円 で、

収入済額は全額、語学指導等を行う外国青年招致事業に充当したものです。

なお、予算現額と収入済額との差額195万5,639円は事業費の実績減によるものです。

次に、第8項雑入、第2目雑入のうち、教育委員会関係は、

予算現額	4億 370万9,000円
調定額	3億9,586万7,749円
収入済額	3億7,339万1,511円
収入未済額	2,247万6,238円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
教員住宅使用料	3,868万8,241円
A L T家賃	2,194万8,034円
日本スポーツ振興センター共済負担金	6,143万5,490円
日本スポーツ振興センター共済給付金	1億7,314万5,510円

収入未済額のうち主なものは、教職員退職手当の返納に係る過年度戻入分が未収となったもので、平成30年度債権処理計画において設定した目標達成に向けて、収納の確保に努めてまいります。

次に、142頁の第3目過年度収入のうち、教育委員会関係は、

予算現額	1,567万5,000円
調定額	1億 219万5,035円
収入済額	1,518万4,953円
不納欠損額	11万 841円
収入未済額	8,689万9,241円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
(過年度)高等学校等修学奨学金返還金	1,331万2,112円
(過年度)進学奨励金返還金	73万7,749円

不納欠損額は、教職員恩給過払い返還金について、平成29年4月に時効が成立したことによるものです。

また、収入未済額のうち主なものは、高等学校等修学奨学金返還金、大学等進学資金貸付金返還金、進学奨励金返還金及び教職員恩給及び退職年金の不正受給に係る受給者からの返還金等です。

今後も、平成30年度債権処理計画において設定した目標達成に向けて、引き続き収納の確保に努めてまいります。

次に、第5目弁償金のうち、教育委員会関係は、

予算現額 0円
調定額 6万6,224円
収入済額 6万6,224円 で、

収入済額は、交通事故における相手方負担分及びバス運行委託事業者が原因の事故に係る弁償金です。

160頁の第15款県債、第1項県債、第8目教育債は、

予算現額 70億9,200万円
調定額 58億6,100万円
収入済額 58億6,100万円 で、

収入済額のうち主なものは、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
校舎その他建築費充当	6億4,900万円
特別支援学校施設建築費充当	14億5,500万円
教職員退職手当充当	35億6,000万円
特別支援学校学習環境等基盤整備事業費充当	7,800万円

次に、162頁の第9目災害復旧債のうち、教育委員会関係は、

予算現額 2,100万円
調定額 500万円
収入済額 500万円 で、

収入済額は全額、県立学校施設災害復旧費充当であり、台風第21号により被害を受けた県立学校の復旧に係る事業に充当したものです。

以上で歳入決算の説明を終わり、引き続き歳出決算につきましてご説明申し上げます。

第10款教育費のうち、教育委員会関係といたしまして、

432頁の第1項教育総務費、第1目教育委員会費は、

予算現額	912万8,000円
支出済額	874万2,065円
不用額	38万5,935円 で、

支出済額は、教育委員の報酬及び教育委員会の開催等に要した経費です。

次に、第2目事務局費は、

予算現額	27億2,171万円
支出済額	27億 643万6,242円
不用額	1,527万3,758円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	26億1,632万7,996円	事務局職員の給与費
管理企画費	8,611万5,325円	教育委員会事務事業の企画調整、事務局運営、学力向上県民運動推進、学校防災推進に要した経費
公立文教施設整備事務費	136万4,492円	公立小中学校施設整備のための指導助言に要した経費
教育政策費	262万8,429円	教育改革の推進、高等学校活性化の推進に要した経費

不用額の主なものは、管理企画費の執行残852万5,675円です。

次に、434頁の第3目教職員人事費は、

予算現額 157億4,281万5,000円
 支出済額 154億8,904万9,957円
 不用額 2億5,376万5,043円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人事管理費	5,176万2,916円	教職員の人事・採用試験、育成支援等に要した経費
給与福利管理費	17万 790円	教職員の給与福利管理に要した経費
電算システム管理費	6,631万9,467円	給与・旅費等のシステム運用管理に要した経費
教員免許ステップアップ事業費	622万2,286円	免許状の授与・検定、免許更新審査及び免許法認定講習に要した経費
教職員退職手当	153億3,594万1,287円	教職員の退職手当
教職員人事管理システム運営費	2,863万3,211円	教職員人事管理システム運用管理に要した経費

不用額の主なものは、教職員退職手当の執行残2億4,618万8,713円です。

次に、436頁の第4目教育指導費は、

予算現額	52億5,115万5,000円
支出済額	51億9,831万8,896円
翌年度繰越額	999万8,000円
不用額	4,283万8,104円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
指導行政費	3,046万5,979円	指導主事の活動、職業教育支援に要した経費
小・中学校生徒指導費	7,843万8,099円	小中学校における学力向上支援、いじめ・不登校対策、道徳教育支援等に要した経費
高等学校生徒指導費	1億6,738万3,915円	県立高等学校におけるキャリア教育、学力向上対策、国際教育等に要した経費
国際教育費	2億1,898万9,082円	県立高等学校の外国語指導助手の活動に要した経費
教科書事務費	40万1,989円	教科書の採択や無償の給付に要した経費
入学者選抜事務費	854万3,140円	県立高等学校入学者選抜事務に要した経費
奨学費	43億9,924万5,602円	高等学校等修学奨学金、高校生等奨学給付金及び就学支援金
特別支援教育振興費	2,838万7,420円	県立特別支援学校における医療的ケアの充実や就労・自立支援、発達障がい指導・支援等に要した経費
いじめ・不登校対策充実事業費	2億4,735万6,926円	スクールカウンセラーの配置等のいじめ・不登校対策に要した経費
外国人児童生徒支援費	1,910万6,744円	外国人児童生徒支援に要した経費

翌年度繰越額は全額、小・中学校生徒指導費です。SNSを活用したいいじめ相談体制の構築事業に係るもので、これは国の平成29年度補正予算に係る事業であり、年度内に完了できなかったため、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、小・中学校生徒指導費の執行残868万901円、高等学校生徒指導費の執行残836万5,085円、国際教育費の執行残911万9,918円、奨学費の執行残828万7,398円です。

次に、438頁の第5目総合教育センター費は、

予算現額 1億2,979万4,000円
 支出済額 1億2,373万5,578円
 不用額 605万8,422円 で、

支出済額の主なものは、教職員の資質の向上を図るための研修・研究、総合教育センターの管理運営に要した経費です。

次に、440頁の第6目人権教育費は、

予算現額 1億 498万9,000円
 支出済額 1億 423万9,639円
 不用額 74万9,361円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
人権教育総合推進事業費	9,512万6,722円	人権教育の推進及び高等学校進学奨励金等に要した経費
学校教育事業費	628万7,257円	学校人権教育の推進に要した経費
社会教育事業費	282万5,660円	社会人権教育の推進に要した経費

不用額は主に、人権教育総合推進事業費の執行残35万3,278円及び学校教育事業費の執行残38万9,743円です。

次に、442頁の第7目恩給及び退職年金費は、

予算現額 5,202万5,000円
 支出済額 5,188万3,648円
 不用額 14万1,352円 で、

支出済額は、退職教職員の恩給及び年金です。

次に、第8目教職員厚生費は、

予算現額 9億3,297万円
支出済額 9億2,330万8,088円
不用額 966万1,912円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
教職員厚生費	6億9,477万7,602円	教職員及び事務局職員の福利厚生に要した経費
教職員住宅費	2億2,853万486円	教職員住宅の管理運営に要した経費

不用額の主なものは、教職員厚生費の執行残947万8,398円です。

第2項小学校費、第1目教職員費は、

予算現額 554億9,512万7,000円
支出済額 554億378万2,704円
不用額 9,134万4,296円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	551億7,945万8,739円	小学校教職員に係る人件費
旅費	2億2,432万3,965円	小学校教職員に係る旅費

不用額は主に、小学校の教職員に係る給与費の執行残5,389万2,261円です。

444頁の第3項中学校費、第1目教職員費は、

予算現額 313億3,711万7,000円
支出済額 312億9,833万2,562円
不用額 3,878万4,438円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	310億7,786万8,086円	中学校教職員に係る人件費
旅費	2億1,118万4,772円	中学校教職員に係る旅費
学校部活動振興費	927万9,704円	中学校の部活動振興に要した経費

不用額は主に、中学校の教職員に係る旅費の執行残2,227万8,228円です。

446頁の第4項高等学校費、第1目高等学校総務費は、

予算現額 307億4,937万1,000円
 支出済額 306億9,696万8,238円
 不用額 5,240万2,762円 で、

支出済額は、県立高等学校の教職員に係る人件費です。

次に、第2目高等学校管理費は、

予算現額 30億9,337万7,000円
 支出済額 30億8,219万1,919円
 不用額 1,118万5,081円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校運営費	19億5,771万9,481円	県立高等学校の管理運営に要した経費
人事運営費	3,176万7,830円	県立高等学校教職員の人事運営に関する経費
指導運営費	1,162万2,156円	県立学校納付金の徴収事務に要した経費
学校部活動振興費	4,837万 303円	県立高等学校の部活動振興に要した経費
情報教育事業費	2億5,325万3,741円	情報教育機器設備等の充実に要した経費
実習船運営費	1億5,485万1,940円	水産高等学校実習船の運営等に要した経費
校舎その他修繕費	7,733万2,310円	県立高等学校の校舎等の修繕、維持管理に要した経費
財産管理事務費	3億1,549万8,074円	県立高等学校の設備等の財産管理に要した経費
デジタルスクールネットワーク事業費	2億3,177万6,084円	学校情報ネットワークの管理に要した経費

不用額の主なものは、学校運営費の執行残346万1,216円、情報教育事業費の執行残346万259円及び財産管理事務費の執行残216万6,926円です。

次に、448頁の第3目学校建設費は、

予算現額	11億7,464万4,000円
支出済額	8億2,494万672円
翌年度繰越額	2億8,547万6,600円
不用額	6,422万6,728円 で、

支出済額は、県立高等学校の改修や施設整備等に要した経費です。

翌年度繰越額は、四日市工業高等学校専攻科棟の整備工事について、実施設計に期間を要したため、また、四日市商業高等学校の施設整備工事について、工所用資機材の搬入経路の調整に不測の日数を要したため、それぞれ年度内に完了できず、やむを得ず繰り越したものです。

450頁の第5項特別支援学校費、第1目特別支援学校費は、

予算現額	137億9,774万1,000円
支出済額	136億4,227万4,042円
不用額	1億5,546万6,958円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
給与費	102億 239万4,706円	県立特別支援学校教職員の 人件費
学校運営費	4億 179万9,508円	県立特別支援学校の管理運 営に要した経費
人事運営費	3億 675万5,549円	県立特別支援学校教職員の 人事運営に関する経費
指導運営費	4億7,927万5,836円	スクールバスの整備・運行委 託、県立特別支援学校の学習 環境整備等に要した経費
就学奨励費	1億4,223万2,123円	児童生徒の就学による保護 者の経済的負担の軽減を 図るために要した経費
特別支援学校施設 建築費	21億 981万6,320円	県立特別支援学校の施設整 備に要した経費

不用額の主なものは、給与費の執行残1,760万5,294円及び特別支援学校施設建築費の執行残1億2,389万5,680円です。

452頁の第6項社会教育費、第1目社会教育総務費は、

予算現額 1億1,598万2,000円
 支出済額 1億1,364万9,212円
 不用額 233万2,788円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
社会教育推進費	155万1,850円	社会教育事業の企画・指導等に要した経費
地域教育推進費	118万6,908円	子どもの読書活動の推進等に要した経費
熊野少年自然の家費	4,384万3,688円	熊野少年自然の家の管理運営に要した経費
鈴鹿青少年センター費	6,706万6,766円	鈴鹿青少年センターの管理運営に要した経費

不用額の主なものは、地域教育推進費の執行残31万7,092円、熊野少年自然の家費の執行残62万9,312円及び鈴鹿青少年センター費の執行残126万2,234円です。

次に、454頁の第6目文化財保護費は、

予算現額 2億6,207万円
 支出済額 2億5,985万2,097円
 翌年度繰越額 140万7,000円
 不用額 81万 903円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
埋蔵文化財費	1億5,200万8,450円	埋蔵文化財センターの管理運営等に要した経費、国道建設工事等に伴う埋蔵文化財の受託発掘調査等に要した経費
文化財管理費	1億 784万3,647円	国指定及び県指定文化財の保存、天然記念物等の保存管理、海女習俗映像記録作成等に要した経費

翌年度繰越額は、文化財管理費のうち地域文化財総合活性化事業に係るもので、補助事業の実施にあたり設計変更等に期間を要し、年度内に完了できなかったため、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、文化財管理費の執行残76万5,353円です。

456頁の第7項保健体育費、第1目保健体育総務費は、

予算現額 3億2,382万2,000円
 支出済額 3億1,880万7,597円
 不用額 501万4,403円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
学校保健安全管理費	3億1,286万6,491円	児童生徒の健康管理、学校における安全対策等に要した経費
学校給食対策費	594万1,106円	県立学校給食の衛生・品質管理の徹底、食育推進等に要した経費

不用額の主なものは、学校保健安全管理費の執行残410万7,509円です。

次に、第2目体育振興費は、

予算現額 2億2,010万4,000円
 支出済額 2億1,065万8,950円
 不用額 944万5,050円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
運動部活動支援事業費	9,710万3,376円	運動部の全国・ブロック大会等の開催、参加等に要した経費
みえ子どもの元気アップ総合推進事業費	1,500万701円	子どもの体力向上推進、中学校への武道指導者派遣、中学校・高校への地域スポーツ指導者派遣に要した経費
県立学校体育施設開放事業費	358万4,470円	県立学校の体育施設の開放に要した経費
平成30年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業費	9,497万403円	平成30年度に本県で開催される全国高等学校総合体育大会準備経費

不用額の主なものは、運動部活動支援事業費の執行残698万7,624円及びみえ子どもの元気アップ総合推進事業費の執行残129万9,299円です。

続きまして、476頁の第11款災害復旧費、第4項教育施設災害復旧費、第1目県立学校施設災害復旧費は、

予算現額	1億 588万1,000円
支出済額	4,992万1,336円
翌年度繰越額	1,501万1,720円
不用額	4,094万7,944円 で、

支出済額は、台風第21号により被害を受けた県立学校施設の復旧に要した経費です。

翌年度繰越額は、四日市南高等学校及び紀南高等学校の復旧工事に係るものであり、年度内に完了できなかったため、やむを得ず繰り越したものです。

以上をもちまして、教育委員会関係の平成29年度一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。